

## 令和2年度「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」事業実績報告書(横手市)

### 1 教育・保育の現状と課題

#### 市の教育・保育の課題

- (1) 各就学前施設において実施している、特徴ある保育に配慮した支援の在り方について検討が必要である。
- (2) 就学前施設と小学校との接続連絡会の設置や交流内容にばらつきが見られる。
- (3) 小学校・就学前施設教職員等の双方における子どもの学びの理解が不十分である。

### 2 目的、重点、実施内容

#### 目的(3年間)

本市において平成28年度より実施の「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」の成果を踏まえ、就学前施設の教育・保育の質のさらなる向上と小学校との円滑な接続に向けた環境を整える。

#### 重点(令和2年度)

県と連携しながら、就学前施設の教育・保育の質の向上と小学校との円滑な接続に向けた体制を構築する。

#### 実施内容

- (1) 部局間連携による教育・保育推進体制の充実
  - ・市の小学校教育指導担当課である教育指導課に、指導主事1名と教育・保育アドバイザー2名が事業を実施することで、幼小接続に向けた連携を強化する。
  - ・教育指導課(小学校教育指導担当課)と子育て支援課(就学前教育保育担当課)との連携体制を確保する。
- (2) 教育・保育アドバイザーによる園の支援
  - ・就学前施設の教育・保育の質の向上を目指し、保育力向上への取組として、指導主事と共に就学前施設における要請訪問による助言と園内研修支援を継続的に実施する。
- (3) 専門性の向上のための研修の充実
  - ・就学前施設の教育・保育の質の向上に向けた取組として、就学前施設の課題に応じた研修会を開催する。
- (4) 小学校教育への円滑な接続に向けた研修等の充実
  - ・就学前教育・保育と小学校教育の円滑な接続のため、育ちと学びに対する幼保小相互理解を図る取組として、研修会の開催、教職員の体験事業の継続実施、幼保小自主事業への支援を行う。
- (5) 県との連携体制の確保
  - ・県の幼児教育推進協議会、アドバイザー連絡協議会や研修会への継続参加をしていく。
  - ・県教育庁幼保推進課指導班からの助言をもとに体制の見直しを図る。
  - ・県教育庁南教育事務所総務・幼保推進班指導主事や県教育・保育アドバイザーと共に、園の解決や研修会運営のための情報共有をしていく。

### 3 令和2年度の実施状況 成果及び今後の課題と改善の方策 (○成果●課題◇改善の方策)

#### (1) 「部局間連携による教育・保育推進体制の充実」

- ・子育て支援課との定期的な打合せの機会の設定、連携による事業の推進
- ・年度初めから打合せを行い、監査及び研修についてのお互いの事業の内容を確認し合った。また、その後も情報共有に努めている。
- ・横手市幼小接続推進協議会を開催、令和元年度の課題を受け、方向性を協議
- ・6月23日第1回横手市幼小接続協議会開催（協議委員8名事務局員7名参加）令和2年度接続の方向性について協議し、3点について確認した。今後2月16日に第2回協議会を開催し、今年度の成果と課題について協議する。



- 年度初めに子育て支援課との打合せがあり、今年度の方向性が確認できた。
- 横手市幼小接続推進協議会が核となり、接続を市全体で行っていかうという気運が高まった。
- 接続の方向性は、各団体での取組になってきたが、団体相互の取組を導き出すところには至っていない。
- ◇今年度は小・保・認それぞれの組織の中での接続への取組が更に進められたので、来年度はこれをベースに、より具体的な連携による実施に進んでいきたい。

#### (2) 「教育保育アドバイザーによる園や保育者への充実した支援」

- ・園への継続した訪問を続け、身近な相談者として力になり支え、保育力の向上を図る。
- ・保育参観の大切さを各園に周知し、園内研修に関わる園を拡充する。

□令和2年度アドバイザーによる巡回訪問・指導に関する実施状況（横手市）

⑥訪問実績 計 57施設／全57施設 682回	
回数	・幼稚園：私立4園（47回）
数	・保育園：公立5園（59回）、私立22園（311回）
	・幼保連携型認定こども園：私立2園（27回）
	・その他の施設：（へき地保育所 園（回）児童館 か所（回）、小規模保育施設 か所（回）、認可外保育施設5か所（35回）、事業所内保育施設2か所（23回））
	・小学校：17校（180回）
訪問内容	・園内研修支援（保育改善、テーマ別、研修方法、研修計画）（33園（59回））
	・公開保育支援（指導・助言、公開保育研究会の運営・準備）（0園（0回））
	・個別相談（保育者の面談及び指導等、園の課題解決対応等）（5園（99回））
	・状況把握（保育の状況観察、園長等への聞き取り調査）（34園（52回））
	・周知活動（広報紙等での取組経過の伝達、事業内容説明）（40園17校（505回））
	・県と同行（指導方法研修、園の課題共有、指導内容の明確化）（4園（4回））
	・幼小接続（幼小接続に関する調査及び事業等）（17校（68回））

- ・ほとんどの園から訪問の要請が来るようになり、複数回の要請がある園も増えてきている。
- また、認可外、事業所内保育園にも広報紙を配付しつつ関係作りを進めている。
- ・研修体制を支援することにより、園内研修への意欲が高まっている。一方個々の保育士の悩み（特に保育が難しい子について）を聴くことができ、ニーズも増えてきている。
- ・要請のない園も若干あったので、こちらから参観等のお願いをした。また、自分たちで課題に取り組む研修体制ができていない園もあるので、アドバイザーと共に研修内容を考えていくような支援をしている。



- 2名のアドバイザーがそれぞれの役割を明確にしながら、多様な園のニーズに応えた支援を行うことができた。また、継続的に訪問支援することで、保育者や園児の変容を追っていくことができた。
- 定期的な訪問により、認可施設はもちろん、認可外施設への関係作りも少しずつ構築されている。
- いくつかの施設には、こちらから訪問を依頼する形での実施となり、自主的な訪問支援が行える体制づくりをしていきたい。
- ◇保育参観や研修の前後にもアドバイザーが訪問していくことで、研修内容や指導計画について、より具体的なサポートを継続していく体制を整えていきたい。

### (3) 「専門性の向上のための研修の充実」

- ・指導計画についての研修会：5月頃（中止）
- ・公開保育を通しての研修会：10月頃（中止）
- ・第1回横手市保育実践力向上研修会開催：12月21日  
【会場】雄物川コミュニティセンター  
【参加者】3、4歳児担任29名  
【内容】幼小の接続の理解に基づく子どもの育ちや学びの見取りについて、講義及び演習を通して理解を深める。

#### ☆参加者のアンケートから

- ・感染対策をとりながらのプチ演習があり、他の先生の意見や考えを知るきっかけとなり、とても良かった。さらに自分の保育への考えを深めることができた。
- ・演習による具体的な例があったことで、子どもの姿が想像しやすく、10の姿に照らし合わせて考えることができ、大変勉強になった。
- ・市主催の研修会は、コロナ感染予防の観点から3回予定した内2回が中止となった。33園17校と施設数の多さもあり、市として一斉の研修会の開催は難しい状況であった。
- コロナ禍で1回のみ開催であったが、テーマと参加者を絞ったことにより、具体的で実践に結び付きやすい研修となった。
- 就学前施設数が多く、例年通り各施設の受講希望者を募る研修会の実施は難しかった。
- ◇来年度も大人数での研修会は厳しいと思われるので、テーマや年齢層など対象を絞った研修会を短時間で行えるように計画したい。
- ◇小学校区域内の施設同士や、同じ法人同士の合同研修会など、身近な研修会実施を進めていきたい。



第1回保育実践力向上研修会でのプチ演習

### (4) 「小学校教育との円滑な接続に向けた研修等の充実」

- ・幼小の教職員が一緒に学び合う研修会開催：10月頃（中止）
- ・幼小各施設の研究授業や要請訪問の情報を公開し、参加を推奨
- ・小学校、就学前施設のそれぞれの研修会に講師として参加し（市指導主事）、接続に向けての講話・演習等を行った。  
（小：幼小連携委員会研修会 8/3、1/26 実施）（就：横手市保育士会保育研究委員会 10/14、12/10 実施）
- ・職員体験事業については、できる範囲でということに依頼したが、半数以上の小学校区で実施された。（参加人数57名）
- ・互いの授業や保育の参観については、実施する施設が増えたが、研究協議への参加となると難しい面がある。



ますだ保育園園内研修への増田小学校職員参加

- 市の研修会として一堂に会してのものはできなかったが、各小学校区で研究授業、要請訪問に互いに訪れることを推奨することができた。
- 各団体が意欲的に研修会を開催し、そこに参加しながら接続に向けての取組を応援できた。
- 各小学校、就学前施設による取組の差は大分解消されてきたが、まだ若干見られる。
- ◇より互いの保育・教育の理解を深めるために、互いの参観時の視点を示したシートを活用できるように、その製作を進めていきたい。
- ◇市保育協議会、市認定こども園協会との結び付きを更に強化し、研修会への協力を得る。

**(5) 「県との連携体制の充実」**

- ・教育・保育アドバイザー連絡協議会（全4回）参加
- ・就学前教育推進協議会（11/27）参加
- ・「市アドバイザーに学ぶ研修会」（12/3 横手市横手幼稚園にて実施、大館市・仙北市へのアドバイザー参加）
- ・新規採用者研修、5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修、園内研修リーダー養成講座などにも参加
- ・県教育庁南教育事務所総務・幼保推進班指導主事・幼保指導員と同行訪問し、園の課題解決や研修会運営のための情報共有を行った。
- 各種研修会や協議会への参加を通して、アドバイザーのスキルアップにつながり、県や他市町村の取組の情報交換をすることができた。
- 県指導主事等の同行訪問で各園の保育、子どもの理解への気付きが共有でき、共通理解が深まった。
- アドバイザーの結び付きはあるが、市町村の事業担当者同士の情報交換できる場があるとよかった。
- ◇県や事業市と情報を交換し合い、これまでの体制を継続強化していきたい。

## 5 令和3年度の事業の構想

目的
本市において一昨年度よりスタートした「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」の成果と課題を踏まえ、県と連携しながら、就学前施設の教育・保育の質の向上と小学校への円滑な接続に向けた体制構築の一層の進化を図る。
実施内容
<p>(1) 「部局間連携による教育・保育推進体制の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「横手市幼小接続推進協議会」における市一体としての具体的な取組につながる協議</li><li>・市民福祉部との協力による関係機関のつながりの強化</li></ul> <p>(2) 「教育保育アドバイザーによる園や保育者への充実した支援」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・要請訪問前後の継続した訪問による指導計画や事後研修のサポート</li><li>・保育士との面談、気になる子の保育やその保護者への対応、幼小接続について等園のニーズに応じた随時訪問の継続</li></ul> <p>(3) 「専門性の向上のための研修の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・テーマや参加者などで対象を絞った大人数にならない研修会を短時間で実施     テーマ案) 指導計画作成について、園内研修の進め方について等     参加者案) 担当クラスごと、採用3年未満の若者、園内研修リーダー等</li><li>・各団体が開催する研修会等への参加</li></ul> <p>(4) 「小学校教育との円滑な接続に向けた研修等の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公開保育による幼小教職員の合同研修会開催</li><li>・できる範囲での職員体験事業の継続</li><li>・授業・保育参観の視点シートを基にした互いの参観による相互理解、意見交換</li></ul> <p>(5) 「県との連携体制の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・県主催の協議会・研修会、事業実施市主催研修会への継続参加</li><li>・県の指導を仰ぎながら事業体制の見直し、継続強化</li><li>・「市アドバイザーに学ぶ会」の継続実施</li><li>・県要請訪問への同行訪問</li></ul>